

育

成

会

報

発行日 ● 2024年3月15日 **第66号**
発行責任者 ● 境地区手をつなぐ育成会
会長 戸塚 和市
事務局 ● 社会福祉法人 桑の実福祉会
Tel. 0270-74-0811

ごあいさつ

境地区手をつなぐ育成会 会長
戸塚 和市



令和5年度の境地区手をつなぐ育成会会報発行にあたり一言挨拶を申し上げます。

境地区の皆様には、本年度も境地区手をつなぐ育成会の活動に深いご理解のもと、「ふれあい募金」にご協力をいただき心から感謝とお礼を申し上げます。この貴重な募金を活動源として私たちは障害福祉の増進と発展に努力してまいります。

今年度は新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、マスクの着用が個人の判断になりました。私たちは、各関係者と連携を図り消毒などの感染対策を講じながら事業を推進してまいりました。これまで何事もなく事業が行えた事は区長の皆様、民生児童委員協議会の皆様、地域ボランティアの皆様、地域住民の皆様の御協力なくしては出来ませんでした。この場をお借りして重ねてお礼申し上げます。今後とも引き続きご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

終わりに地域住民皆様の健康と安全をご祈念してご挨拶と致します。



**令和5年度
ふれあい募金のお礼**

今年度もご協力ありがとうございました。

頂いた募金額 **810,700円**

レクリエーション会

12月14日(木) 場所:地域福祉センター



あたりまえの日常と笑顔が戻ってきた!

境地区手をつなぐ育成会 中塚 美子

令和5年12月14日、境地域福祉センターにて、クリスマスレクリエーション会が実施されました。役員や事務局のほかにも民生児童委員協議会の方々にもお手伝いいただき、89名の参加となりました。競技は、ボッチャや輪投げ、ストラックアウトなど気軽に楽しめるものを用意し、会場のあちこちで歓声上がる和やかで楽しい集いになりました。

コロナウイルスという疫病が全世界を襲い、目の前にいる人を「自分に厄災をもたらすかもしれない人」として警戒し続けた日々を経験した今、人とつながることを非難されない日常がどんなに尊いか改めて実感しました。この事業のあと、能登半島で大きな災害があり、ハンディのある人たちにとっての避難生活の過酷さをずっと考えていますが、平時から、周囲の人と、同じ時代に生きる隣人として、ゆるやかにつながっていければ、大きな災害が起きた時に、特別な支援や配慮が必要な人たちの存在も大切にもらえるのではないかと考えています。

第50回 福祉パレード中央集会

9月12日(火) 場所 ● 県庁県民ホール北側



グラウンドゴルフ大会

日時: 10月26日(木)

場所: 女塚区グラウンドゴルフ場



障害者スポーツ大会

日時: 9月17日(日)

場所: 県立ふれあいスポーツプラザ



視察研修

日時: 9月28日(木) 場所: 県立伊勢崎高等特別支援学校



東京の空を体験しよう

日時: 2月17日(土)

群馬県手をつなぐ育成会社会活動推進事業



生き生きゆうあいサークル事業

境地区手をつなぐ育成会 石井 昭安

4年ぶりのわくわく社会体験バス旅行は、群馬県手をつなぐ育成会の委託事業として「東京の空を体験しよう」をテーマに2月17日(土)に実施しました。当日は、抗原検査と手指の消毒を行い、45名の参加者が目的地の東京タワーとフジテレビにむけ出発しました。

東京タワーのメインデッキでの「お～お～、すげえすげえ」第一声。地上150メートルからの眺望は林立するビル群や羽田空港を飛び立つ飛行機。遠く東京湾まで一望でき感動の連続でした。続くフジテレビの球体展望台でのお台場の絶景と合わせ皆さん空から東京を満喫されたことでしょう。重ねて旅のお楽しみのお買物に満足し、思い出の一日になりました。

帰りのバスでの皆さんの感想は「楽しかった」の連呼と合わせ参加者のふれあいの楽しさや職員の対応のすばらしさなど声が沢山よせられ役員として充実したうれしい旅行となりました。お世話になりました。



生き生きゆうあいサークル事業は、群馬県手をつなぐ育成会の社会活動推進事業の委託事業として実施したものです。

参加された方からは、「久しぶりにバスに乗って東京に出かけられてよかった」「来年は〇〇に行きた～い♪」「みなさんと楽しい時間を過ごせました」などの声が聞かれました。

事務局として4年ぶりの事業でしたが、感染対策も講じながら、役員様、区長様、民生児童委員協議会の皆様、保護者の皆様のご協力により実施できたと思います。ありがとうございました。

作品展

日時: 2月3日(土)～4日(日) 場所: 境公民館



つながりフェスティバル

11月12日(日) 場所:境総合文化センター 小ホール



この事業は、障害の垣根を越えてつながり、障害を持つ人も持たない人も共に助け合い、共に暮らすことのできる地域社会を目指してこの事業を実施しています。

4年ぶりの開催ではありましたが、予想をはるかに超える大勢の方にご来場いただきましてありがとうございました。

つながりフェスティバルに参加した方みんなとても楽しそうでお囃子では太鼓の音が会場内に鳴り響き、手話ダンスでは紙飛行機が会場を舞い、大道芸人の風船を使った(バルーン)芸や切り絵で会場全体が盛り上がりました。



関東甲信越ブロック大会 栃木大会

11月18日(土) 場所:栃木県総合文化センター



衛生用品寄贈のお礼

伊勢崎市立境剛志小学校 校長 三木 俊幸

この度、境地区手をつなぐ育成会より、境地区の関係団体、各学校に対し、不織布マスク、手指消毒用アルコール、ペーパータオル等、衛生用品を寄贈していただきました。ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の感染症対策をしていかなければならない状況の中、衛生用品の寄贈に感謝申し上げます。今後の感染症対策に有効に活用させていただきます。



おくやみ

境地区手をつなぐ育成会の役員で長年、お世話になりました長沼重男さんが令和6年1月にご逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



あとかぎ

日頃、生活しているうえで普通に食べられている食料、使えている電気、水道、などは見えないところで多くの人の尽力により維持・管理されている。災害などが起こる度に「当たり前」という事が「当たり前じゃない」という事を感じてしまう。災害が起こったから感じるのではなく私たちは、普段の生活がどれだけ幸せな事が大切な事かを感謝しなければいけない。(事務局 1)

* 本誌掲載のすべての写真はご本人及びご家族の了解を得ています。